

学級活動学習指導案

指導者

ゲストティーチャー 高畑 桜

當山 敦己

- 1 日時 ○年○月○日（○） ○校時
- 2 学年・組 第1学年○組（○名）
- 3 題材名 「みんなちがって みんないい」
- 4 本時のねらい

自分の好きなものを友達と伝えあい、ゲストティーチャーの話聞くことを通じて、自分と人には同じ部分や違う部分があることに気づき、お互いの違いや個性を理解し多様性を認め合う態度を養う。

- 5 準備物
 - ・金子みすゞの詩「わたしと小鳥とすずと」
 - ・自分の好きなものが描いてある絵
 - ・絵本「わたしはあかねこ」

6 本時の展開

	主な学習活動	主な発問と予想される児童の反応 (○発問◎中心発問◇指示)	指導上の留意点 (☆評価の観点)
導入 5分	1. 金子みすゞの詩「わたしと鳥とすずと」を聞いて、課題意識をもつ。(3～5分)	○「みんなちがって みんないい」ってなんだろう？ ・分からない。 ・わたしは小鳥のように飛べないけど、走るのが上手。 ・わたしは鈴みたいな音は出ないけど、歌をたくさん知っている。	・詩を読んで「みんなちがってみんないい』ってなんだろう？」と問うことで、本時の課題意識をもたせる。
	「みんなちがって みんないい」ってなんだろう？		

2. 自分の好きなものを描いた絵を見せながら、班の友達と自分の好きなものを伝え合う。(5~8分)

◇ 班の人に絵に描いた自分の好きなものを伝えましょう。聞く人は自分と同じところや違うところはないか、考えながら聞きましょう。

- ・「私の好きな色は～です。好きな動物は～です。好きな食べ物は～です。好きな遊びは～です。」
- ・「分かりました。／同じです。／違います。」

・好きなものの紹介の仕方の手本を教師が示し、見通しをもって活動できるようにする。

・本時のねらいについて考えさせるために、友達の発表に対して自分と同じか違うかという聞く視点をもたせる。

3. 友達の好きなものを聞いて、分かったことや気づいたことを発表する(10分)

○班の人の好きな○○は何でしたか。(例：好きな色)

- ・Aさんは水色が好き。
- ・Bくんは赤色が好き。
- ・自分はピンクが好きだけど、Cさんは黄色が好きだった。

・絵のカテゴリーごとに聞くことで、多くの子が発言できるようにして、授業への積極的な参加を促す。

◎自分の好きなものと友達の好きなものを比べて、気づいたことはありますか。

- ・自分と同じものが好きな友達がいいた。
- ・自分とは違うものが好きな友達がいいた。
- ・好きな色は違ったけど、好きな動物が一緒の友達がいいた。

☆自分の好きなものを伝え合う活動を通して、自分と友達には同じ部分や違う部分があることに気づいている。(活動中の様子、発言)

<p>展開② ゲストティーチャー 20分</p>	<p>4. ゲストティーチャーの好きなものの話を聞く。(5分)</p> <p>5. 黒板にクラス全員の絵を掲示し、絵本「わたしはあかねこ」の読み聞かせを聞く。(6分)</p> <p>6. 「みんなちがってみんないい」についての話を聞く。(5~8分)</p>	<p>(さーちゃん先生の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女の子だけど、ズボンが好きだし、髪も短いのが好き。 ・好きになるのは女の子。 <p>(あっきー先生の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体は女の子として生まれたけど、心は男の子。今は男の子として生活している。 <p>◇今から絵本を1冊読むので、前の方に集まって静かに座りましょう。</p> <p>(二人からのメッセージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりがたからもの ・じぶんとともだちの「すき」をたいせつにする。 <p>(メッセージを板書させてください)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャー1人ひとりの話を聞くことで、好きなものの多様性だけでなく、性の多様性や生き方の多様性についても触れられるようにする。 ・絵本が見やすいように、子どもたちを前の方へ集めて読み聞かせをする。 ・黒板の絵や絵本の内容を対応させながら、「みんなちがってみんないい」が伝わるような話をする。
<p>終末 5分</p>	<p>7. 授業を振り返る (5分)</p>	<p>○今日の授業を受けて分かったことや、思ったことを教えて下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の好きなものがたくさん知れてうれしかった。 ・一人ひとり好きなものはちがう。 ・自分と友達の好きを大切にしたい。 ・色んな人がいることが分かった。 	<p>☆自分の好きなものを友達と伝えあい、ゲストティーチャーの話を聞くことを通じて、お互いの違いや個性を知り多様性を認め合う態度を養う。</p> <p>(活動中の様子、発言)</p>

11 板書計画

「みんなちがってみんないい」ってなんだろう。

子どもたちの絵

みんなちがってみんないい

ひとりひとりがたからもの

じぶんとともだちの「すき」を

たいせつにする